

◆◆メンバー紹介◆◆

メンテナンス課の父 久保智貴

今回のメンバー紹介は、浄化槽のメンテナンスをしている9人の中で、**最年長のお父さんの存在「久保智貴さん」**です！メンテナンスをしているメンバーは20代、30代の若手が多いのですが…
ベテランの久保さんにインタビューしてみました！

名前：久保 智貴（くぼ ともたか）

出身地：四日市市 四日市消防団団員です！



年齢：46歳 昭和44年生まれ

趣味：バイクに乗ること！今の愛機は青色 GPZ900R！

苦手なもの：毛虫やイモムシ 大切なもの：2人の娘とネコ



■メンテナンス課の父

若手メンバーが多いメンテナンス課に一人、40代のベテラン社員の久保さん。社員のレベルアップのため浄化槽に起こるさまざまなトラブルや故障を解決するのにいつも相談に乗ってくれます。ときには厳しい一面もありますが、久保さんの机の上には大事な娘さんとの写真が置いてあります♡二人の娘さんを大切にしている素敵なお父さんです☆



20代メンバーとの
ジェネレーション
ギャップが悩みです。



■若い者には負けません！！

久保さんは、浄化槽のメンテナンスをして12年になります！そんな久保さんに仕事のやりがいを聞いてみました！
「前職は製造業で工場の中で仕事をしていたのですが、この仕事になってお客様に顔を覚えていただいたり、名前でご呼んでいただけるのが嬉しいです」
ステキなコメントですね！ご存じの通り、メンテナンス課はお客様との距離がすごく近いんです！一日体を動かさず仕事なので年々体力的にはつらいと感じることが多くなってきているようですが…
20代のメンバーが活躍しているメンテナンス課でこれからも若手メンバーの相談に乗ってくれるお父さんの存在であってほしいです。体もきつい年齢になってもお客様のために、がんばる久保さん！これからもよろしくお願いします！！

メンテナンス歴12年
品質とスピードには
自信があります！！

環境新聞

第8号

2016年1月発行
発行元：株式会社東産業
住環境事業部

いつもお世話になっている皆様へ

伝えたい“想い”があります！

子どもたちに伝えたいこと



当社では毎年「環境フェア」を開催し、多くのお客様にご来場いただいています。2015年8月8日・9日に開催しました「第12回環境フェア」には、両日あわせて1696人の方に足を運んでいただきました。本当にありがとうございます。都合が合わず参加できなかった方、「参加したことはないけど、どんなイベントなの？」と興味をお持ちの方に少しでもご紹介させていただきます。

前号の環境新聞で「お酒と尿の水の汚れ方」について記載しましたが、私たち住環境事業部のブースでは、子どもたちに「お水はどうして汚れるのか」を説明しました。

おそらく多くの方は「水を使えば汚れるのは当たり前」と思われるでしょう。その通りです。水を汚すことは誰にでもできる簡単なことなのです。しかしその逆は違います。汚した水をきれいにするには、浄化槽や下水処理場のような設備、それを管理する人、時間、お金が必要になります。

私たちは水を使うときにそこまで意識しませんが、一度このことをお子様やご家族と共有してみてください。水は私たちにとってとても大切なものであり、だからこそ大切にしていける必要があります。「水が汚れるのは当たり前」ではなく「**水を汚したらキレイにして返すのが当たり前**」と意識が変われば素敵ですよ。これも立派な環境保全の一つだと思いませんか？

水を汚す原因（一般家庭 4人家族の場合）



約1000ℓの水が1日の生活で使われ、汚水になっているんです

工場見学



「フジクリーン工業株式会社」

今回、私たちは浄化槽メーカーである「フジクリーン工業株式会社」様の浄化槽・ブロワ（送風機）製造工場にお邪魔させていただきました。私たちも普段見ることのない場所なので、とても勉強になりました。その一部をご紹介します。



▲ブロワ製造工場内

一方、浄化槽の耐久試験も同様に工場内で実施していました。地面に埋まっている浄化槽には、常に周りの土からの圧力がかかっています。そのため、どのように圧力がかかるのかを、センサーを取り付けた浄化槽を水中に沈めて破損するまで実験するそうです。

また、工場内には2015年4月に発売されたばかりの新型浄化槽が展示してありました。（実は今年の環境フェアに展示させていただきました）浄化槽も時代と共に変化しています。私たちもその変化に遅れないよう、日々勉強してまいります。

皆さんの生活の一部である浄化槽ですが、いったいどこで、どうやって作られているのでしょうか？

「フジクリーン工業株式会社」様について日本初の小型合併浄化槽を開発し、様々な賞を受賞されております。現在も水処理技術の向上を通じて多くの方の生活を支えている会社です。

参考：<http://www.fujiclean.co.jp>

愛知県にある製造工場では小型合併浄化槽とブロワ（送風機）を製造されています。ブロワは一日に約300～400台製造され、組み立て作業の最後に機械で1台ずつ風量（空気の吹く力）の確認をしていました。ほぼ機械作業かと思いましたが人の手による組み立てもあり、丁寧に製造されている様子がわかりました。また、ブロワの耐久試験のため、各種メーカーのブロワを常に200台程を稼働させています。



▲出荷前の浄化槽

もっとお客様のお役立ち&もっと環境にやさしく

浄化槽実験開始!!



突然ですがクイズです！

みなさんが使っている浄化槽はどんなお水をきれいに行っているでしょう？

①トイレの排水のみ ②トイレと台所 ③お家からのすべての排水

正解は…

ちょっといじわる問題でごめんなさい！正解は①と③です。

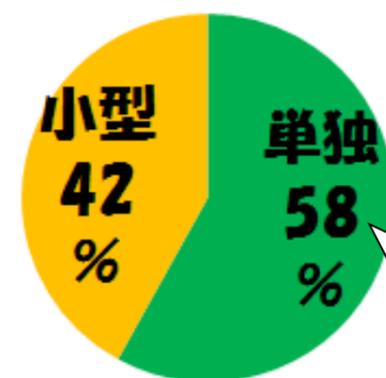
浄化槽には①のトイレの排水のみをきれいにする「単独処理浄化槽」

と③のすべての家庭排水をきれいにする「小型合併処理浄化槽」があります。

ただし、この「単独処理浄化槽」は台所やお風呂などの排水は処理せずに川や海に流してしまうため、平成13年に設置されることが禁止されました。それ以降に家を作る場合は「小型合併処理浄化槽」を設置することが法律で決まっています。

しかし！

日本全国に設置されている浄化槽が約776万基あり、そのうち小型合併浄化槽が42%、単独処理浄化槽が58%を占めています。



「単独処理浄化槽」が廃止されてから10年以上経ちましたが、未だに全国にある浄化槽の半分以上が「単独処理浄化槽」のままです！

「単独処理浄化槽」から「小型合併浄化槽」に入れ替えるには

大きな工事とお客様の負担(お金)が必要です！

入れ替えの補助金が行政(市町村)から出るところも

ありますが、なかなかうまく進んでいないのが現状です

出典：環境省 HP <https://www.env.go.jp/press/17689.html>

そこで!!

三重県環境整備事業協同組合、大学の教授とタッグを組み、**単独処理浄化槽の改造実験**を開始しました！！

単独処理浄化槽を小型合併処理浄化槽に入れ替えるという大きなお金がかかる工事をしなくても、**今すでに設置されている単独処理浄化槽に改造をしてお家からのすべての家庭排水をきれいにする合併処理浄化槽の役割を果たすものをつくれませんか……**

現在はまだ実験段階ですが、環境に関わる会社としてお客様によりリーズナブルに、そしてより環境に優しいものを提供できないか、試行錯誤がスタートしました！
どんな実験をやっているかは、また次回の環境新聞でご紹介したいと思います♪

